モジュール追加

このホームページは『こむねっとひろしま』を利用し、亀山南学区コミュニティ交流協議会が運営しています。

モジュール追加

◎可部線電化延伸を目指して！！

今年は、可部線が明治42年（1909）12月、横川駅～祇園駅（現在の下祇園駅）間に開通してから、丁度満100年になります。
その後幾多の変遷を経て、昭和44年（1969）7月には三段峡駅まで開通しました。当時の計画では、浜田までつながる予定でしたが、諸々の事情で三段峡より先の路線は見送りとなりました。
広島から名勝地三段峡まで開通後は、広島市民や地域住民の足として、可部線は大活躍しました。
モータリゼーションの進展、過疎化などの諸般の事情の中で、私たち沿線住民の願いもむなしく、JR西日本は、平成15年（2003）12月1日、可部駅・三段峡駅間を廃止しました。
一方、平成4年になって、河戸駅まで電化を延伸し河戸駅を始発着駅とするという地域の要望を受け、平成6年（1994）7月24日地域の発展と住民の利便性向上のため、『可部駅・河戸駅間電化促進期成同盟』が結成されました。以後広島市及び関係当局のご支援を戴きながら、15年間に亘って活動を進めて参りました。
現在最後の正念場を迎えており、地域住民をはじめとして関係者のご支援を心よりお願いする次第です。

15年の活動の経過はここを（電化延伸15年の活動について.pdf）クリックして下さい

アヒルも首を長くしてまーす

プログラム

元祖はひろしまじゃけん！！

上手く点くかなと真剣な表情

子どもたちも駆け足で点火

無事点火終了

音大のトロンボーンカルテット

熱演の亀山子ども神楽団

見事な舞でした。将来が楽しみ

演奏もカー杯元気でした

熱心に神楽見物の観衆

県民踊土橋社中の皆さん

踊りにも年季が入ってました

宝塚にも出演できるかな

篝火も応援です

地元コーラスグループの美声

ご浄土でもピュアな生き方とか

山口さん大奮闘の巻

ライトに映える子どもの創作電車

阿武山にかかる上弦の月

第3回河戸まちづくりフェスタ

今年で第3回目を迎えた河戸まちづくりフェスタは、秋の気配が漂い始めた9月18日夕刻より開催され、回を重ねる毎に盛大になり、地域住民の可部線の電化延伸に対する熱意はかがり火のごとく熱気を帯びてきたように感じました。

特に今年は、篝火の点火式で子ども達より電車がきたら運転手になって多くの人に乗ってもらいたいとの宣言やら、文教女子大学附属高校の生徒の皆さんによる、はち切れるようなはつらつとした文教太鼓、亀山神楽団による郷土芸能である神楽の出し物は参加された皆さんの気持ちを一つにし、地域一丸となっている河戸の町おこしの熱気を感じた一夜でした。

その他の写真は、『まちのアルバム』 でご覧下さい。